

JAみねのぶ



軽トラ市（7月28日、JA横駐車場）



JAみねのぶ祭（8月26日、峰延農協農産物検査場／
美唄市峰延町峰樺三区）

■発行日/平成30年9月1日/No.1397号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

美唄市長が小麦集出荷 調製施設に激励来訪

8月3日、高橋美唄市長が峰樺3区にある美唄市小麦集出荷調製施設と峰延地区収穫機械利用組合を激励に訪れました。

高橋市長一行は、美唄市内にある11ヶ所の集出荷調製施設の訪問で当JAの施設にも立ち寄つたもので、麦の刈取り状況や品質等を聞き取り、森川組合長、伊藤専務理事、篠原農業施設課長が対応しました。

高橋市長は、「今年は天候が不順で小麦の品質が良くないので調製作業に努め、良品質麦が少しでも多く出荷されるように願っています。」と述べていました。



森川組合長・伊藤専務理事と懇談する高橋美唄市長

29年度食料自給率38% 過去2番目の低水準

農林水産省は8月8日、平成29年度の食料自給率がカロリーベースで前年度と同じ38%になつたと発表しました。前年度に続いて過去2番目で、米の大凶作で37%だった平成5年度に次ぐ史上2番目の低水準となりました。

主な要因として農林水産省は、自給率が高い米の消費量の減少に歯止めがかからない一方で、輸入の割合が多い牛肉などの畜産物の消費が伸びていることを挙げています。

食料自給率は、国内の食料消費を国内の農業生産でどの程度賄えるかを示し、政府は平成25年度に、食料・農業・農村基本計画で平成37年度にカロリーベースで45%にする目標を掲げていますが、今回の低下で達成は難しくなりました。また、食料自給率は統計を取り始めた昭和53年度の79%をピークに低下が続き、主要先進国の中でも最低の水準となっています。

一方、生産額ベースの自給率は、円安の影響などで肉・魚介類の輸入額が膨らんだこと等で前年度より2ポイント下がり65%となり、

カロリーベースと同様に過去2番目の低水準でした。

第7回(8月)定例理事会の開催について

8月24日開催の第7回定例理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

1. 理事に対する平成30年度クミカン取引の貸越極度額等の変更について

おくやみ申し上げます

大内 ハマさん (95歳) 8月11日 岩見沢市大願町654番地

笛木 キミエさん (93歳) 8月15日 美唄市峰延町峰樺1区
大槻 キミエさん (88歳) 8月24日 美唄市光珠内町北

一報徳

否

『地獄・極楽の存

あるひとが、地獄・極楽というものは本当にあるのでしょうか、と聞いた。翁は答えた。坊さんはあるというけれども、取り出して人に見せることはできないし、儒者はないというけれども、これも行つて見極めたわけではない。ことは明らかだ。迷うでない。疑

いうのも、空論に過ぎない。けれども、人の死後に、生前の行為の因果応報ということは、なくてはならぬ道理だ。儒者がないといふのは三世を説かないためで、仏教では三世を説いている。説いても説かなくても三世というものは必ずある。したがつて地獄・極楽もないとは言い切れない。見ることができるないからといって、ないと決めつけるわけにはゆかない。

さて、地獄・極楽はあるとしても、念佛宗では、念佛を唱える者は極楽へ行つて、唱えない者は地獄へ落ちるというし、法華宗では、妙法蓮華経と唱える者は地獄から浮かんで、唱えない者は地獄に沈むというし、もつとひどいのは寺へ金や米を納める者は極楽に行つて、納めない者は地獄に落ちるというが、こんな道理は決してあり得ない。元来、地獄は悪事をした者の死んでからやられるところ、極楽は善事をした者の死んでからゆくところに疑いない。もともと地獄・極楽は勸善懲惡のためにあるものであつて、宗旨を信ずる信じないのためにあるものではないことは明らかだ。迷うでない。疑



**峰延農協年金友の会が
スポーツ大会開催**

7月31日、峰延農協年金友の会（吉田栄会長）のスポーツ大会が峰延小学校体育館で開催されました。

このスポーツ大会はスポーツ競技を通して会員相互の友好の輪を広げるとともに健康増進を図ることを目的に毎年開催を続けていて今年で37回目となります。

例年通り真夏の風通しの悪い屋内での開催で、蒸し暑く、競技で体を動かしている皆さん汗だくで奮闘していました。参加者は103人、吉田会長の

挨拶、JA伊藤専務理事の祝辞に続いて全員で準備体操を行い、全11種目にグループまたは個人で全員が参加、童心に戻つて楽しく競技を行つていました。

心配された熱中症や怪我等はなく、楽しいひと時を過ごしていました。

第2回監事監査終わる

本年7月末を基準日とする第2回監事監査が8月8日から10日までの3日間、浅香代表監事以下3名の監事によつて執行されました。本年度の第2四半期における事業の進捗状況及び会計処理の状況等について精力的に監査を行い、最終日に常勤理事・幹部職員に対して今回の監査結果について講評が行われました。

この事業は女性部員の全員参加の運動として毎年続けていて、粗品や記念品でもらう新品のタオル1本又は使い古しの綿布（洗濯済みのもの）を持ち寄り福祉施設などで役立ててもらおうと年1回の寄贈を行つています。今年はタオル28本、綿布1・4kgが集まり、8月21日に小川副部長と矢部副部長が恵風園・恵祥園を訪問し和田園長に手渡しました。

和田園長は「毎年、このように寄贈をいただき本当にありがとうございます。備品として施設内で使わせていただきます。」と感謝を述べました。

J A 女性部
「部員1人タオル1本運動」で
集まつたタオルを寄贈

J A 女性部（吉村俊子部長）が、福祉施設にタオル等を寄贈するため「部員1人タオル1本運動」を実施、部員から提供を受けたタオル・綿布を美唄市峰延町公園にある恵風園・恵祥園の高齢者福祉施設に寄贈しました。



和田園長に手渡す小川副部長と矢部副部長

市役所からのお知らせ 農地中間管理事業に係る農地借受希望者を募集します

農地中間管理事業により農地借受を希望される方は、あらかじめ登録手続きが必要となりますので、次の内容を確認のうえ、応募願います。募集は、年2回実施しております。

○応募方法 「農用地等の借受希望申出書」に必要事項を記入のうえ、郵送又は持参により借受希望される区域の市役所担当課へ提出願います（平成28年5月以降に応募された方の提出は不要）。申出書及び説明資料は、各市役所で配布のほか、各市のホームページからもダウンロードできます。また、JAみねのぶ農業経営課にも配置しております。

○募集期間 平成30年9月1日（土）～9月30日（日）まで（郵送の場合、当日消印有効）

○提出先・お問い合わせ先

美唄市役所 農政課農政係（電話：0126-63-0114）〒072-8660 美唄市西3条南1丁目1番1号

岩見沢市役所 農務課農業経営係（電話：0126-23-4111）〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

三笠市役所 農林課農林係（電話：01267-2-3996）〒068-2192 三笠市幸町2番地

「軽トラ市」を開催



軽トラックの荷台には採れたて新鮮野菜

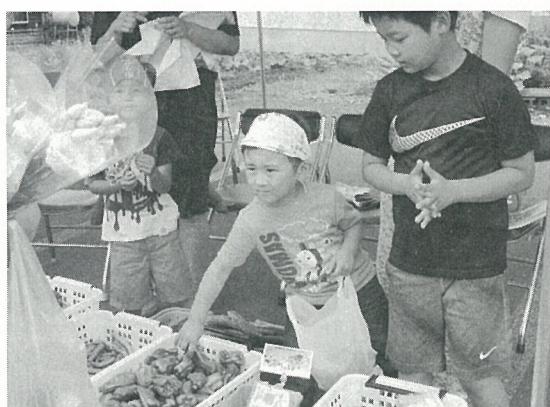
当JA横の国道12号に面した駐車場で、軽トラックの荷台を店舗に見立てた「市」を年に数回開催していく、新鮮野菜等を生産者が直接対面販売し好評を得ています。今年の1回目は7月28日、出店した軽トラは3台、荷台に陳列されたのは、当日の朝採りの胡瓜、ミニトマト、ズッキーニ等の新鮮な夏野菜とトルコキキョウ等の花が並びました。



8月11日の開催はお盆時期で花が大人気

お客様が好きな野菜を選び袋に詰められる「野菜の詰め放題」が人気でした。軽トラ以外には、岩見沢にある社会福祉法人ゆあみ会「工房こぶし・いこい」が小物雑貨を販売しました。また、管内でパンを手作りしている「yacto（ヤコット）」があんパンやシフォンケーキを販売しました。

J Aみねのぶ店も出店し、旬を迎えた峰延産の赤肉メロン「ルピ



三浦農園はお子さんが店員で「いらっしゃいませー！」

2回目は、8月11日でこの日から「みねのぶマルシェ」の水色の幟が登場しました。三浦農園では、お子さんが店員を務め「いらっしゃいませー」「いかがですかー」の可愛らしい声が響いていました。又、この日はお盆の時期で花が大人気で即完売となり、大急ぎで再度入荷されていました。

アレット」、新鮮な紅鮭半身や糠にしん等を特価で販売し、来場したお客様の両手は買い物袋でいっぱいでした。当日の天気は雲ひとつない快晴、気温も真夏日の30°C以上となり、会場に設けられたテントでは、峰延産ななつぼしのおにぎりと冷たい素麺が無料で振舞されました。



冷えた素麺が振舞われました(7月28日)

峰千加（ほうせんか）は、キッチンカーを持ち込み「峰千加カフェ」を開いていました。

J Aみねのぶ店も出店し、果物コーナーには、桃、梨、ぶどう、メロンを買い求める行列が出来ていきました。

峰延地域の生産者と消費者が交流できるこの軽トラ市の今後の開催日程は、9月に2回、10月に豊穣祭を開催する予定で参加者を募集しています。



JAみねのぶ店果物コーナーは行列(8月11日)



8月11日開催から「みねのぶマルシェ」の水色の幟が目印



各社最新鋭のGPS装備トラクターを持ち込む

J A青年部が現地研修会を開催

8月21日の午前中、光珠内の玄米ばら集出荷調製施設の敷地をつて本年度の青年部現地研修会を開催し21人が参加しました。

今回は、G P S（全地球測位システム）装備トラクターの実演会で、（株）北海道クボタ、ヤンマー、グリジャパン（株）、日本ニューホラント（株）、（株）ヰセキ北海道がそれぞれ自社の最新鋭のG P S装備トラクターを持ち込みました。G P S装備トラクターの実演会は昨年の現地研修会でも開催していて、青

年部員から要望が多く再度開催した経過にあります。前回に比べてトラクター性能や装備しているG P Sの精度が向上していて、圃場の大区画化が進められる状況で各社が先進技術を取り入れたモデルを取り揃え、無駄のない施肥や防除が可能とP Rを繰り広げています。

青年部員は積極的に用意されたトラクターを試乗し自動操舵やガイダンス等の性能を体感していました。

J Aみねのぶ祭 （第28回農産物消費者交流会）開催する

8月26日（日）、毎年恒例のJ

Aみねのぶ祭（農産物消費者交流会）が峰樺3区にある農産物検査場で開催されました。この交流会はJAみねのぶの農産物のPRと生産者と消費者との交流の場にしようと開催を続け今年が28回目になります。

来場者はバスカッピ狩りに訪れた消費者の皆さんに開催案内を郵送した他、JA組合員の皆さんには新聞折込等のチラシで周知し多くの方々が訪れていました。

森川組合長は開会挨拶の中で、



開会の挨拶を述べる森川組合長

「台風崩れの温帯低気圧の影響で開催が心配されましたが大勢の方にご来場いただき、開催することができ、ありがとうございました。」と述べました。

朝取り野菜生産者の会の新鮮野菜、こだわり南瓜生産者の会のホクホク南瓜、峰延バスカッピ生産組合のジャム等の加工品、菜宝箱の落花生加工品、峰延手打ちそば愛好会の手打ちそば、プチBOX



新鮮野菜等の即売は大盛況

の手作り雑貨、気ままな主婦の会のとり飯、ヤコットの手作りパン、峰千加のチュロスと加工品・野菜、JA青年部・ポプラ会のホルモン焼き・フランクフルトとサワー、女性部の綿菓子、NPO法人エフイの米つぶアイス、JA生活店舗の飲み物コーナー、美唄やきとり「福よし」、かどやの米粉を使つたたこ焼き、ソフトクリームの各店舗が午前10時5分に一斉にオープンしました。来場した皆さんは最初に地場農産物等を買おうと各店に殺到し、その後はゆつくりと焼鳥やとり飯、そば、ビール等を楽しんでいました。

この日は開会当初は曇りでその後時々晴れて少し蒸し暑い気候、生ビールとホルモン焼きがよく売れて、特に福よしの焼き鳥には行列が出来ていました。

先着550名限定のとりめしと手打ちそばの試食コーナーでは長い列にならないように番号を区切つて渡していましたが、裏方の気ままな主婦の会と峰延手打ちそば愛好会の皆さんは早朝から汗だくで仕込みに追われていました。

スケジュールに沿つて工夫を凝らしたイベントが次々と行われ、



いも・玉葱・枝豆詰め放題は100人ほどが参加



「かぼちゃころがし」には30人余りの子供が参加



「とりめし」「手打ちそば」の試食コーナー

JA青年部対抗縄引き大会の迫力ある熱戦
(写真は当JA青年部チーム)

小学生以下の子供を対象にしたカボチャをボールに見立て転がしてペットボトルのピンを倒す「かぼちゃころがし」では30人余りの子供が参加し高得点を出した方は景品が渡されました。

近隣のJA青年部対抗縄引き大会では、当JA青年部、びばい、1袋500円のいも・玉葱・枝豆詰め放題では、開始前の受付に100人ほどの行列ができ、開始後15分足らずで用意した玉葱、ジャガイモ、枝豆は無くなってしまいました。



大bingo大会で豪華賞品をゲット

いわみざわ、そらち南、ながぬまの他に当JA職員チームが加わり全6チームで予選を行いました。そらち南で賞金が手渡されました。綱引きが始まると会場は迫力の熱戦に見入っていました。

毎年一番盛り上がる大bingo大会では、「ダイソンコードレス掃除機」「ソニーゲーム機スイッチ」「ケルヒャー高圧洗浄機」「白老牛A4ステーキ用ロース肉」「高級枕」「登別第一滝本館」

1泊2名宿泊券等の人気の豪華景品が用意され、来場者の皆さんにはbingo券を手に番号を聞き逃さないように耳に全神経を集中し、番号が発表される度にざわめきが起きていました。続いて行われた抽選会も「温泉2名宿泊券」等の豪華な景品が用意され、安達常務理事が引く当たり番号に期待が外れ落胆の声が繰り返しました。

J A組合員の皆さん多く来場し、米収穫前の晩夏のひと時をごしてきました。閉会は、伊藤専務理事が来場のお礼と来年もお待ちしていますと述べ午後3時に閉会しました。



閉会の挨拶を述べる伊藤専務理事

【連載】～続・今こそJA！～

【第4回】JAの地域貢献①

JAは組合員だけでなく、地域で生活する多くの人達にとっても大きな役割を果たしています。北海道には銀行やスーパー、ガソリンスタンドなどでJAが運営する施設しかない町村が数多く存在していますが、こうした地域の住民にとってJAは不可欠な存在であり、JAが地域に貢献している事例も数多くあります。

道北の中頓別町は人口約1700名の小さな町であり、JA中頓別の正組合員戸数は42戸です。町内において生鮮食品や日配品を取り扱う店舗はAコープ中頓別店しかありません。そこで店長は組合員や消費者が満足してもらえるお店にするにはどうしたら良いかを考えました。その結果、ロスを恐れず商品数をしっかりと揃えることで魅力あるお店づくりを心掛け、商品を軽ワゴンに積み込んで組合員に直接販売するなど新たな取り組みを行い、さらに店長自ら催事スペースを製作したり、店舗の入口にスロープを取り付けることで高齢者の安全にも配慮しました。こうした組合員や消費者に喜ばれるお店づくりを通じて売上高や来客数を伸ばしています。

組合員や地域の人達の信頼を受けながら地域とともに生きる。これが真のJAのあり方ではないでしょうか。



Aコープ中頓別店の手作り催事コーナー

JAグループ通信

No.26

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、

組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

第29回

JA北海道大会

組合員組織討議資料

北海道550万人と共に創る
「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



平成30年8月

JA北海道大会実行委員会
(事務局: JA北海道中央会)

11月開催の第29回JA北海道大会に向けて組合員の声を反映させるため、9月末を期限とする組織討議を実施します。

原案には、前回大会で掲げたJAグループの将来ビジョン「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」に向けて、農業所得増大やサポートー1550万人づくりの継続実施などを盛り込むほか、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加えております。

また、各JAにおける組織討議に加えて、組合員の皆さんから直接ご意見を提出いただけるよう、意見提出様式を公開しておりますので、ご提案を賜りますようお願い申し上げます。

JA北海道中央会



JA北海道信連



8月に、JAとうや湖等の協力を頂き、小学生の親子を対象とした「旬食カレッジin洞爺湖」を開催しました。じやがいもの収穫体験、地元産じやがいもやミニトマト等を使った料理教室、JAによる講演等を実施し、道産野菜のおいしさや栽培の大なりなど、食や農の大切さを伝えることができました。参加者には、「食に対する関心が高まり勉強になった」「また参加したい」など好評でした。



北海道産牛肉を炭火焼きで楽しんでもらう「第2回北海道牛肉まつりinさっぽろ」が7月29日から8月1日の4日間、札幌パークホテル駐車場特設会場で開かれました。このうち2日目の30日には「北海道産牛肉応援PR大使」でグルメタレンタのアンジェエラ佐藤さんが登場。



北海道庁とホクレンの若手職員計5人を相手に、「大食い競争」に挑戦し、会場から大きな歓声が上がりました。

ホクレン



J A北海道厚生連



JA共済では、これからも「3Q訪問活動」と「あんしんチェック（保障点検活動）」の実践を通じて組合員・地域利用者の信頼と期待に応え、「安心」と「満足」の提供に努めています。



JA北海道厚生連は組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健



康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご覧ください。

J A共済連北海道



8月3日に札幌・共済ホールにて「全道LA・スマサポ大会」が開催され、平成29年度普及活動で優秀な成績を取ったLA22名と、スマイルサポーター15名が登壇し表彰されました。